

活用のない自立語

○体言

↓次の二種類がある

・名詞↓物の名前や事柄を表す

(1)普通名詞↓一般的なもの、事柄を表す。

例 家 犬 水 世界

(2)固有名詞↓人、国などの名前を表す。

例 日本 富士山

(3)数詞↓数や順番を表す。

例 一番 三匹 二位

(4)形式名詞↓名詞本来の実質的な意味が薄れたもの。

例 行くことができる 歌は楽しいものだ

(5) 転成名詞↓動詞、形容詞の連用形から名詞になったもの

例 喜びに満ちた顔 遠くからやってくる

転成名詞の見分け方

・下に格助詞(を、に、が、と、より、で、から、の、へ、や)がついていれば転成名詞。

・下に「ます」か読点「、」がついていれば用言

(6) 派生語↓接頭語や接尾語がついた名詞

例 お茶 ご理解 私たち 厚み

・代名詞↓物事(人、モノ、場所、方向)を指し示す

(1) 人称代名詞↓「人」を指し示す。

例 私 君 彼 あいつ

(2) 指示代名詞↓「物事、場所、方向」を指し示す

例 これ そこ あちら

○副詞

↓状態や程度を表し、主に連用修飾語になる(用言を修飾する)。

(1)状態の副詞↓動作や作用の程度を表す

例 ゆっくりり歩く ワんワんと吠える

(2)程度の副詞↓性質や状態の程度を表す

例 とても美しい もっと静かだ

(3)陳述(叙述、呼応)の副詞↓後に続く言い方と結びつき、

話し手の気持ちを表す

例 まるで鬼のような顔つき

よもやさぼるわけがあるまい

○連体詞

↓常に連体修飾語になる(体言を修飾する。)

- (1) 「くた型」例 たいした とんだ たった
- (2) 「くな型」例 大きな 小さな いろんな
- (3) 「くが型」例 わが
- (4) 「くの型」例 この その あの 例の
- (5) 「くる型」例 ある あらゆる いわゆる

※右から順に「たながのる(棚が乗る)」と覚えるといいかも

○接続詞

↓言葉と言葉、文と文をつないでその前後関係を示す

例 それで(順接) しかし(逆接) また(並立、累加)

さて(転換) つまり(言い換え、要約) 例えば(例示)

○感動詞

↓感動、呼びかけ、応答、挨拶を表して、独立語になる。

例 ああ(感動) おい(呼びかけ) 応答(はい) おはよう